

立体地図展「3Dでさぐる長岡の大地」開催にあたって

大地の会は、「大地のなりたち」を中心に学んでいる地学学習グループです。私たちが生活している大地は、悠久の歴史を経て今の姿になり、なおその活動を継続しています。大地の成り立ちや私たちの生活の関わりについて、地学・考古学・土木工学などを通して、また先人の足跡をたどることを通して、学び、考え、地域づくりに貢献しようとする団体です。

この立体地図展は、長岡地域の各地の特徴的な地形について、全国でこの地域にしかない2mメッシュの詳細な数値標高データを用いて、誰もが簡単に実体視できる地図を作成し、日頃何気ない風景の中の大地の形（地形）をあきらかにするとともに、その成り立ちについて、地質の分野から解説を加えたものです。

2004（平成16）年に発生し、甚大な被害をもたらした7.13水害と中越地震（10.23）は、大地形成のダイナミックな活動そのものであり、そして災害被害の大小は、その地形と成り立ちが大きくかかわっていることを知りました。

私たちの生活の基盤である長岡の大地の成り立ちについては、地層など、そこに記された大地の記憶を丹念に読み解くことで、あきらかにすることができます。大地はいかにしてできたか？を知ることは感動であり、悠久の大地のロマンを感じさせてくれると同時に、今後また起こりうる避けることができない災害と、その心構えを示唆してくれます。

また先人たちは大地の起伏を巧みに利用し、耕地を開き基盤整備を行ってきました。現在の私たちの豊かな生活は、まちがいなくその延長線上にあります。大地に刻まれた先人たちの知恵と苦勞も、この立体地図から読み取っていただき、ふるさとへの愛着を深めることにもつながればと考えています。

なお、この立体地図展は、長岡市市民活動団体助成事業の支援を受けて実施するものです。長岡市をはじめ関係各位のご理解とご支援に感謝して開催のあいさつとします。

2010年9月

大地の会 立体地図展実行委員会

小川幸雄 渡辺文雄 大谷晴男 永井千恵子 吉田一久 森 章
中野雅子 松井直子 鷲山 厚 金子秀樹 金井幸次 小林和子
山後栄子 安藤正芳 今井俊夫 遠藤はつ江 遠藤幹彦 長束敏雄
桑原浩志 西山 拓 古畑英希

（順不同、：実行委員長：事務局長）

講演会講師：山崎興輔 飯川健勝 渡辺秀男

地質学的未来派宣言
新潟県 越路「大地の会」